

生き物文化誌学会 第81回例会（イモ例会）・完全オンライン

『イモが与えてくれるもの』要旨集



タイ北部で収穫されたキャッサバ（イモノキ）の塊根

2021年10月2日（土）

13:00～13:05 「開会の挨拶」池谷和信（生き物文化誌学会会長、国立民族学博物館）

13:05～13:25 「趣旨説明」増野高司（総合研究大学院大学先導科学研究科）

13:25～13:55 講演Ⅰ「サツマイモの受容史 ―日本列島の事例から―」

小島摩文（鹿児島純心女子大学人間教育学部）

13:55～14:25 講演Ⅱ「ヤムイモの採集・栽培がもたらすもの ―ネパールヒマラーヤ南麓の事例から―」

橘 健一（立命館大学政策科学部）

14:25～14:40 休憩

14:40～15:10 講演Ⅲ「キャッサバ利用の多様性と食料生産 ―ペルーアマゾンの事例を中心として―」

大橋麻里子（東京大学大学院総合文化研究科）

15:10～15:30 講演Ⅳ「サトイモに見る日本のイモ利用 ―東北地方の芋煮会の事例から―」

増野高司

15:30～15:40 休憩

15:40～15:50 コメント1 広田 勲（岐阜大学応用生物科学部）

15:50～16:00 コメント2 遠藤秀紀（東京大学総合研究博物館）

16:00～17:10 参加者全員による総合討論

17:10 終了

- ・ Zoom を用いた完全オンラインでの開催です。
- ・ 発表の録音、写真撮影、ビデオ収録、キャプチャー等は、一切禁止します。
- ・ 発表内容（質疑を含む）を許可なく SNS 等に配信することを禁止します。

